

## AI-OCRとRPAの連携による業務効率化の取組開始について

株式会社京葉銀行（頭取 熊谷 俊行）は、AI inside 株式会社（社長 CEO 渡久地 択）が提供する AI-OCR サービス「DX Suite（ディーエックス・スイート）」を導入し、AI-OCR（人工知能を活用した文字認識技術）と RPA（ロボットによる業務自動化）を連携させた業務効率化の取り組みを開始しましたのでお知らせします。

### 【背景】

当行では、生産性向上の取り組みの一つとして、2018年7月に RPA の導入を行い、本部各部署の定型事務作業の効率化を図ってまいりました。今年度は、これまで7,175時間の削減を実現しております。（2019年12月末時点）

### 【目的】

「DX Suite」の導入により、従来 RPA だけでは困難であった「紙帳票が関わる作業」の効率化が可能となりました。まず、この取り組みの一環として、手書きの申込書による住宅ローン事前審査において業務効率化を開始し、年間約5,300時間の削減を目指します。

### 【概要】

	作業内容	従来	効率化後
①	住宅ローン事前審査申込書の申込内容データ化	—	AI-OCR でデータ化
②	住宅ローン審査システムへの入力	手作業で PC 入力	①で作成されたデータをもとに RPA で自動入力
③	取引履歴の確認等、各種照会業務	複数のシステムに対して手作業で照会を実施	

今後、地方公共団体等からの取引照会業務や、個人ローン申込、住所変更等の郵送受付（メールオーダー）などの業務においても AI-OCR の活用の検討を進めてまいります。

以 上